

■事業報告

平成23年度第2回伝統芸能鑑賞会～春を招く若人の舞～

平成24年2月11日(土・祝) 青森県立田子高等学校郷土芸能部

平成23年3月11日。地震にともなう停電のため、情報が遮断され、沿岸部で何が起きているのかも分からない状況のなか、事業担当者として行った仕事の一つが、翌日に予定されていた伝統芸能鑑賞会の出演団体に、行事中止の連絡をすることでした。

それからちょうど11ヵ月を経た平成24年2月11日、一度は中止になった伝統芸能鑑賞会「春を招く若人の舞」を、改めて実現することが叶いました。

出演していただいた青森県立田子高等学校郷土芸能部の皆さんには、二度目のお願いにも関わらず出演を快諾していただくことができました。

当日は午前・午後あわせて300名を超えるお客様にご来場いただき、満員とな

った会場いっぱい、高校生ならではの活力に溢れる舞が繰り上げられました。



公演の前半に披露された田子神楽は、盛岡藩祖南部利直の故地である田子城下を守護するものだったとも伝えられ、盛岡にも少なからぬ縁があるものです。

また後半の流し踊りの部で舞われたナニヤドヤラは、岩手県北部などにも広範に伝播するもので、そのようなつながりもあり、田子高校の皆さんは被災した野

田村においても出張公演をされたということでした。

未だに寒さ厳しい二月のなかにあっても、田子高校郷土芸能部の皆さんの熱演は、見る者に春風のような爽やかな印象を与えてくれるものでした。

11ヵ月もお待たせしてしまいましたが、ご出演いただいた方、ご来場いただいた方、皆様に心より御礼申し上げます。



(学芸調査員 目時和哉)

■事業報告

チャレンジ! はくぶつかん 14名の最優秀チャレンジャー誕生!!

博物館では毎月第2・第3の土曜日と、連続する日曜日に「チャレンジ! はくぶつかん」を行っています。

チャレンジ! はくぶつかんは、学芸員が作成するスタディーシート(写真上)をもとに、毎月決められたテーマにまつわる資料を探し、クイズに挑戦しながら博物館を見学する小学生向けのイベントです。児童生徒の皆さんが、より楽しく博物館で学習できるようにと願いをこめ平成15年度から開始し、今年度で10年目を迎えました。

参加者の皆さんには当該年度有効のスタンプカード(写真下)を発行し、参加した月ごとにスタンプを押印しています。

平成20年度には、4月から3月まで全12回12種類のシートをクリアーし、12個

のスタンプをためた最優秀チャレンジャー(皆勤賞)が初めて誕生しました。

以後、21年度は9名、22年度(3月の回は東日本大震災のため休止)と昨年度は14名の最優秀チャレンジャーが誕生しています。

チャレンジ! はくぶつかんは24年度も実施しています。

新年度第1回目となる4月には57名の参加がありました。

このなかから、今年度は何名の最優秀チャレンジャーが生まれるでしょうか。

(専門学芸員 川向富貴子)

